

# スポーツ現場実習 II

科目ナンバリング SPS-315  
選択 1単位

大川 靖晃・大下 茂

## 1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。

特にこの授業では、実習現場で、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切に取れているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているか、ATの役割を理解し、それに準じた知識や技術を身につけているかを中心に評価し、各論では主に救急処置の実習を行う。

※2年次のスポーツ現場実習 I を修得していることを単位認定の条件とする。

## 2. 授業の到達目標

- ・担当教員に対して、報告、連絡、相談が適切にできる(自分の意見も踏まえたうえで)
- ・解剖学の知識を習得し、現場で生かせる
- ・現場において、適切にリーダーシップが発揮できる
- ・トレーナー活動をするにあたり、適切な準備が行えている
- ・適切な救急処置プラン(EAP)を作成することができる
- ・適切に救急処置を行うことができる
- ・アスレティックトレーナーの役割を十分に理解し、それを全うできるよう準備ができる
- ・スポーツ外傷・障害、内科的疾患の知識を取得し、予防につなげることができる

## 3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(40%) レポート(40%) 報告会発表(20%)

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』 日本スポーツ協会

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養』 日本スポーツ協会

## 5. 準備学修の内容

教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

## 6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 救急処置の基本的な知識について
- 【第3回】 スポーツ現場における基礎知識について
- 【第4回】 外傷時の処置について① 特にRICE処置を中心に
- 【第5回】 外傷時の処置について② 出血時の対応(止血)を中心に
- 【第6回】 外傷時の処置について③ 特殊な外傷時の救急処置を中心に
- 【第7回】 患部の固定法
- 【第8回】 運搬方法
- 【第9回】 緊急時の救命処置について① 心肺蘇生法を中心に(講義)
- 【第10回】 緊急時の救命処置について② 心肺蘇生法を中心に(実技)
- 【第11回】 緊急時の救命処置について③ 頭頸部・脊椎外傷の救急処置について
- 【第12回】 内科的疾患の救急処置 熱中症やショック状態などを中心に
- 【第13回】 現場における救急体制について EAP作成を中心に
- 【第14回】 実際の現場においてどのようなEAP作成が必要かを考える 実際に作成する
- 【第15回】 発表と総評